



高の杜学園

# 朝酌つ子



朝酌小学校便り  
7月号  
2024. 7. 19  
文責 福原

あ	い	言	葉
い	さ	つ	す
さ	え	あ	う
く	ふ	あ	う
み	が	き	あ



## 一学期が終わります

六月後半ごろから、子どもたちの登校時に児童昇降口に立っている、「今日は水やりをした方がいいですか?」と、「二年生の子どもたちによく聞かれます。「昨日の夜雨が降っていたから、やらなくていいんじゃないかなあ」と言っても、ほとんどの子が自分の花を見に行つて、やっぱり必要と思うのか、水をあげているようです。そして、もう一度昇降口に戻ってきて、「花が〇つさいていたよ。」とか「〇〇さんのたくさんさいています。」とか、見てきた様子を自分の言葉で教えてくれます。そういうときの子どもの表情はとても真剣で、自分が育てている植物の成長を楽しみながら自分ごととして学んでいるのを感じます。

さて、七月十九日(金)で七十一年間の一学期を終わります。様々な行事を順調にこなしてきた一方で、天候については、ひやひやすることも多かったと思います。

五月末の運動会で気温が三十度を超えたことや、七月第二週の大雨により駐車場や、児童クラブ横の道が冠水したのには驚きました。

特に七月九日(火)は引き渡しの形での下校となりましたが、保護者の皆様には急なお願いにもかかわらず、ご対応いただき、本当にありがとうございました。

## 五年生宿泊体験活動

六月二十七日、二十八日の二日間、出雲市にある島根県立青少年の家(サン・レイク)で五年生の子どもたちが宿泊体験活動を行いました。

ここ数年、本校の宿泊体験は国立三瓶青少年交流の家で行っており、久しぶりにサン・レイクを使用しました。新型コロナウイルスが流行した期間は、サン・レイクが宿泊・療養施設として使われていたためです。

二十七日の午前中は曇天でしたがなんと外での活動ができました。ところが、午後からはずくと雨で屋内での研修となりました。

午前の研修は野外炊飯で、昼食のカレーライスづくりをしました。調理のグループが食材を切ったり、米を研いでいる間、火をたくグループはブロッコリーやレングでかまどをつくり、みんなで協力して山から小枝や枯葉・枯草を拾い集め、火をつけていました。ご飯が少し焦げたグループもありましたが、カレーはどのグループもおいしくできました。

午後は、カプラという積み木をグループに分かれて行いました。時間内に



どれだけ高く積めるかを競ったり、上手く積み上げれば、一番下の積み木を取り去ると、すべてがきれいに崩れる「ナイアガラの滝」という積み方に挑戦したりしました。グループで相談しながら一つのものを作り上げるこの作業は、仲間との協働の基礎になると感じました。

この日の夜はキャンプファイヤーが雨天のためできず、屋内でキャンドルサービスを行いました。子どもたちから、各グループの出し物がありました。

二日目も、天気は悪く、外での活動はできませんでしたが、館内ラリー(屋内で行うカード探し)、チャレンジ・ザ・ゲームに、子どもたちは楽しそうに取り組んでいました。

この日の午後は、唯一の個人での取り組みとなる、レザークラフトでした。盛りだくさんの二日間でしたが、五年生は疲れた様子も見せず、熱心に取り組みました。失敗もありましたが、どの研修でも積極的に動く五年生は、来年度の朝酌小をきつとしっかり引張っていつてくれると感じました。





